

⑥ 水位水量の増減をきたす行為。

また特別地域的にとくに景観維持のため必要が生じたときは、[特別保護地域]を指定することとなっており、その制限はつぎのようなものであり、いずれも主務大臣の許可を必要とする事となっている。① 開墾・植栽その他形質の変更 ② 物件の堆積 ③ 家畜の放牧 ④ 焚火または火入 ⑤ 爆発物または容易に燃焼すべき物件の貯蔵 ⑥ 野生動物の捕獲または高山植物の採取。

国立公園一覽表 (1956・9・1現在)

公園名	指定年月日	面積 (ha)	関係都道府県
雲仙天草	1934・3・16	25,600	長崎, 熊本, 鹿児島
霧島	1934・3・16	21,560	宮崎, 鹿児島
瀬戸内海	1934・4・16	65,910	兵庫, 和歌山, 岡山, 広島, 山口, 徳島, 香川, 愛媛, 大分
阿寒	1934・12・4	87,498	北海道
大雪山	1934・12・4	231,929	北海道
日光	1934・12・4	140,593	福島, 栃木, 群馬, 新潟
中部山岳	1934・12・4	169,768	新潟, 富山, 長野, 岐阜
阿蘇	1934・12・4	73,087	大分, 熊本
十和田八幡平	1936・2・1	83,351	青森, 秋田, 岩手
富士箱根伊豆	1936・2・1	94,814	神奈川, 山梨, 静岡
吉野熊野	1936・2・1	55,378	三重, 奈良, 和歌山
大山	1936・2・1	12,403	鳥取
伊勢志摩	1946・12・10	52,036	三重
支笏洞爺	1949・5・16	98,660	北海道
上信越高原	1949・9・7	188,915	群馬, 新潟, 長野
秩父多摩	1950・7・10	121,600	埼玉, 東京, 山梨, 長野
碓梯朝日	1950・9・5	204,608	山形, 福島, 新潟
陸中海岸	1955・5・2	8,614	岩手
西海	1955・3・16	24,324	長崎
屋久島	予定	24,000	鹿児島
—		1,784,648	

海域は含まない

(二階堂辰彦)

ここうせっち 弧光接地 (英) arcing ground 発電機, 変圧器, 回転変流機, 水銀整流器, 送電線路, 配電線路, 直流電線路等の導体から鉄塔, 鉄柱, 機械器具組立鉄わく等を通じ、弧光により大地に電流が流れることをいう。正規電圧の導体に何かの原因により異状電圧が発生すると、導体相互間または導体と大地間に火花放電を発生することがある。この火花放電は漸次進行して、ついに消滅困難な弧光放電となるものである。とくに単線接地式電気鉄道における弧光接地は、負極が軌条に接続され、大地に直接連絡しているため、その現象はとくに恐ろしいものがある。(村田良二郎)

こさかてつどう 小坂鉄道

1 事業者の概要

名称 小坂鉄道株式会社, 本社 秋田県鹿角郡小坂町, 資本金 600 万円, おもな事業, 地方鉄道業。
従業員 205 人, 保有車両蒸気機関車 6, 電気機関車 2, 内燃自動車 1, 客車 16, 貨車 179 両。
沿革 明治 39・11 合名会社藤田組が,



秋田県小坂鉱山の専用鉄道として小坂・大館間および茂内・長木沢間の敷設免許を受けたが、明治 42・1 設立の小坂鉄道株式会社がこれをゆずり受け、同年 5 月から一般旅客・貨物の営業を開始した。その後大正 4・11 藤田組の花岡鉱山専用鉄道(花岡・大館間)をもゆずり受け、同 5・1 営業を開始した。昭和 3・1 および同 25・1 の 2 回にわたり小坂・小雪沢間を電化し、同 26・11 には花岡線の軌間を 1.067 m に広げた。なお茂内・長木沢間は昭和 26・4 営業を廃止し現在に至っている。

2 地方鉄道線

開業線 秋田県下の奥羽本線大館駅に連絡し、小坂線、花岡線の 2 線で、延長 27.5 km の単線、旅客および貨物運輸を目的としている。小坂線大館・小坂間 22.6 km は動力は蒸気および電気、軌間は 0.762 m で明治 41・7・16 免許、同 42・5・7 運輸開始した。花岡線大館・花岡間 4.9 km は動力は蒸気、軌間は 1.067 m で大正 4・11・22 免許、同 5・1・26 運輸開始した。

3 運輸概況

項目	年度		
	昭和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	737	775	821
人キロ(千)	5,819	5,969	6,387
貨物輸送トン数(千t)	279	331	348
トンキロ(千)	3,243	3,664	3,911
旅客収入(千円)	18,564	20,366	21,320
貨物収入(〃)	52,630	61,074	63,848
運輸雑収(〃)	11,470	16,213	19,482
収入合計(〃)	82,663	97,653	104,650
営業費(〃)	79,285	93,206	101,194
営業利益(〃)	3,378	4,448	3,456
営業係数(%)	96	95	94

(志村幹雄)

こしかけ 腰掛(客車, 電車, 気動車の) (英) seat (独) Sitzplatz

客車, 電車および気動車に設備されている腰掛は、取付ける状態によって横形腰掛と長手腰掛に分けられる。またその構造および機能によって固定腰掛, 転換腰掛および自在腰掛に分けられる。

腰掛は客室内の美観に非常に関係があり、その形状、色調とともに快適な旅行ができるよう座ぶとんの掛け工合についても十分細心の注意がはらわれている。

最近の腰掛座ぶとんは金わくを使用し、コイルばねを自由高さで一面にならべ、その上部を網状のばねで結んで、その上をやわらかいヘヤロックの詰物をして造られている。また背ずりには成形したヘヤロックを使用し、掛け心地をよくしてある。

1 横形腰掛(クロスシート)

客車の大部分ならびに長距離電車のように車体の長手方向に 2 列に、1 組 4 人掛または 2 人掛の腰掛を取付け、長距離の旅客に楽な旅行ができるよう配置した腰掛で、気動車および一部の長距離電車はその利用上から横形腰掛を主としているが、車体の側入口の部分には一部長手腰掛を併用して旅客の乗降に便にしてある。

2 長手腰掛(ロングシート)

近郊電車の腰掛のように近距離輸送ならびに通動用として、多数の旅客を輸送することができるよう、また乗降に便利なように車体の長手方向の両側に配置した腰掛である。

3 固定腰掛

移動および可動することのできない腰掛で 3 等車, 電車および気動車の腰掛はこれに属する。